

第25回 育成会文化祭り 作品集



主催：公益社団法人沖縄県手をつなぐ育成会

【目次】

● 総 評	1
● 開催要綱	2
● ごあいさつ	3
● 絵画部門	4
● 手工芸部門	24
● 書道部門	30

【 総 評 】

沖縄県では復帰50周年記念事業として、国民両文化祭と全国障害者芸術文化祭を、令和4年度に県全域に亘って開催いたします。

国民文化祭とは、昭和61年より、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業などの各関連分野と連携し、地域の文化資源等の特色を生かした文化の祭典であります。

また、各種の文化活動を全国規模で発表、交流する場を提供する方法として、全国国民大会同様に各都道府県の持ち回りで開催している文化の祭典であります。

同様に、障がいのある人の芸術や文化活動への参加を通じて、その方々の生きがいや自信を創出し、自立と社会参加を促進するとともに、障がいに対する国民の理解と認識を深めることを目的とした同様の祭典として、平成13年より開催されている全国障害者芸術文化祭があります。

その意向に賛同して、沖縄県手をつなぐ育成会では、未曾有のコロナ感染症が県内に充満している現状での感染防止対策もあり、今年度の文化祭りの形態を、従来の集合体による舞台発表に換えて、日常生活の中で十分に鍛錬している技術や独自の趣向による作品発表の場とし、沖縄県立博物館・美術館にて展示を計画いたしておりました。しかし、終息の兆しの見えない感染状況を鑑み、出展参加者や来場者の皆様への感染不安解消対策として、集合体から作品集に変更せざるを得ませんでした。

私たち育成会文化祭りの趣旨は、障がいのある人が芸術や文化活動への参加を通じて、その方々の生きがいや自信を創出し、自立と社会参加を促進するとともに、障がいに対する県民の理解と認識を深めることを目的としております。

今回の育成会文化祭りの大変急な企画変更にも関わらず、絵画部門57点（団体9・個人48）、書道部門10点、手工芸部門21点（団体2・個人19）など、作品の応募形式により離島を含めた広範囲から、自由と個性、さらには芸術性にあふれた素晴らしい作品の参加が寄せられました。

出展者及び関係者の皆様に、心より感謝を申し上げます。

公益社団法人沖縄県手をつなぐ育成会 理事長 田中 寛

【開催要綱】

1. 趣 旨

公益社団法人沖縄県手をつなぐ育成会は、障がいのある人がスポーツや芸術・文化活動を通して、生活地域の中で生きがいのある快適な生活が送れる福祉社会の実現を目指し、積極的な社会参加推進運動を展開しています。

この「育成会文化祭り」は、様々な文化や芸術活動に取り組んでいる障がいのある人達に、日頃の活動の成果を発表する機会を設けると共に、同じ障がいのある仲間や地域の人達との交流を通じ、自立した社会生活の楽しさや喜びを提供する意義深い事業であります。

厳しい状況下にある福祉施策の中、当祭りを通じ、より多くの沖縄県民の皆様知的障がいのある人に対する理解と親睦を深めていただき、温かいご声援とご支援が得られることを期待します。

2. スローガン

- ・手をつなぎ、この感動をわかちあおう
- ・支え支えられ共に暮らせる地域社会を！

3. 主 催 公益社団法人 沖縄県手をつなぐ育成会

協 力 第25回育成会文化祭り実行委員会・沖縄県事業所協議会

4. 作品集作成（知的障がいのある人の作品）

絵画・陶芸・手工芸・書道・写真について個人や団体の作品を集め、作品集を作成し配布する。

5. 参加者

育成会会員・会員親族、育成会親の会（保護者会）、
沖縄県事業所協議会会員事業所、地域団体、一般の方



ごあいさつ

沖縄県子ども生活福祉部長 名渡山 晶子

はいたい ぐすーよー ちゅーうがなびら。

第25回育成会文化祭り開催にあたり、御挨拶を申し上げます。

公益社団法人沖縄県手をつなぐ育成会並びに関係機関の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、知的障害をもつ方々の日頃の文化、芸術活動の成果を発表する会を開催して下さいましたことに対し、深く敬意を表します。

御参加の皆様におかれましては、本大会のスローガンである「手をつなぎ、この感動をわかちあおう」、「支え支えられ共に暮らせる地域社会を！」のとおり、障害者が地域で安心して生きがいを感じながら暮らせる共生社会の実現に向けて、引き続き御理解と御協力をお願い申し上げます。

主催者である沖縄県手をつなぐ育成会のますますの御発展と、御参加の皆様の御健勝並びに御活躍を祈念し、ごあいさつといたします。

※上記のごあいさつは集合形式での開催予定で、事前に頂きましたご挨拶文を掲載しております。



主催者あいさつ

沖縄県手をつなぐ育成会 理事長 田中 寛

公益社団法人沖縄県手をつなぐ育成会は、障がいのある人が自分の居住地の中において、自身の自立や権利を守りながら安全安心な社会生活を過ごすことを切に望んでおり、永年にわたった運動を展開しております。その支援の一環として、例年は日ごろの文化活動の成果を発表する舞台発表での文化

祭を催しておりましたが、コロナ禍の中において残念ながら叶いません。

そこで沖縄県立博物館・美術館における絵画等の作品展示を第25回育成会文化祭りとしたす所存でしたが、大変残念ながら沖縄県に出されている「まん延防止重点措置指定」の継続状況を鑑み、作品展示当事者やご観覧の皆様の感染拡大防止対策として、集合体での作品展示から作品集へと変更せざるをえませんでした。

このように展示の形態が変わり、出品者との直接的な交流の機会は無くなりましたが、作品集を通じて、障がいのある人たちの日々の活動の成果をご覧いただき、一層のご理解をお願い申し上げます。

結びになりましたが、この文化祭りの開催に当たり、ご支援・ご尽力を賜りました関係機関各位の皆様にご心よりお礼申し上げますと共に、本祭りに参加いただきました皆様のご健勝とご活躍を祈念いたします。



【 絵 画 部 門 】

★ 金 賞 ★

おきなわ工房 「大きな木の下」
おきなわ工房の皆様



おきなわ工房利用者のシルエットです。全員で力を合わせ毎日楽しく頑張っています。

【金賞選考理由】事業所利用者個々の個性あふれる姿を写真から投影し、大きな幹の下での、自由に楽しそうな発想が素晴らしく感じます。

☆ 銀 賞 ☆



アートキャンプ2001実行委員会
「顔」 野原 優子（ワークセンター南城たんぽぽ所属）

【 絵 画 部 門 】



沖縄市手をつなぐ育成会 「ひまわり、愛」
 山城 利美香、久高 真弓、亀浜 直美、上原 雅代、
 比嘉 浩、梶原 あい子、比嘉 盛郎

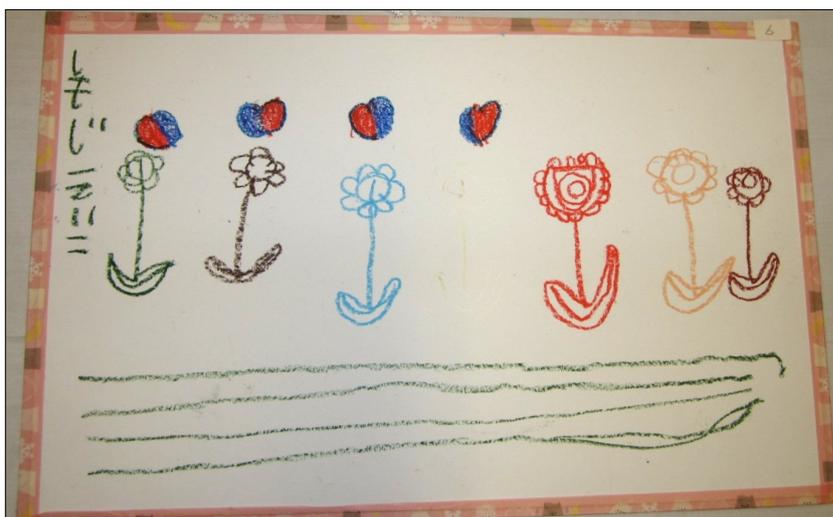
新型コロナ感染拡大予防の為、本人余暇活動がなかなか出来なくなり、残念な思いです。ホームでの作品作りをしました。「ひまわりのように愛を持とう」をちぎり絵にして作成しました。下絵を書いてもらい、それにそって色を選び貼ってみました。次は皆で集まって声を出し合いながら楽しく作品作りがしたいと思います。



沖縄市手をつなぐ育成会
 「みかん狩り」
 久高 真弓、亀浜 直美、上原 雅代、
 上江田 章、大田 純子、仲間 一生

絵画は、自分の好きな色で、書きたいものを自由に書きました。

【 絵 画 部 門 】



支援センターあけぼの
「おはな畑」
下地 栄理子

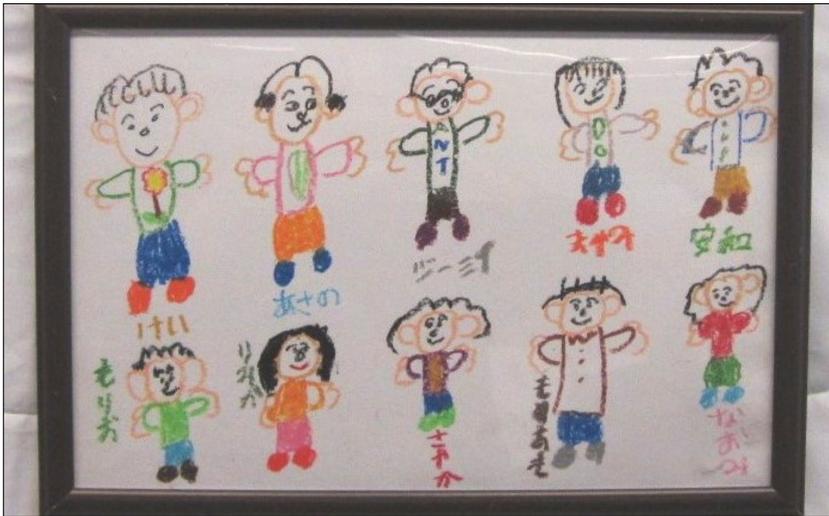


支援センターあけぼの
「色とりどりの
アジサイ」
久場 政文



支援センターあけぼの
「花」
宮里 利恵子

【 絵 画 部 門 】



支援センターあけぼの
「大好きなおともだち」
金城 安和



支援センターあけぼの
「ひまわり」
山城 正子



支援センターあけぼの
「わたしの友だち」
新里 麻乃

【 絵 画 部 門 】



支援センターあけぼの
「ぼくのとちびたち」
屋宜 盛亮



支援センターあけぼの
「お花だいすき
お母さん」
真栄田 圭



支援センターあけぼの
「大好きな
ふうせんたち」
政 哲郎

【 絵 画 部 門 】



支援センターあけぼの
「わたしの家族」
譜久原 真弓



支援センターあけぼの
「にぎやかなお庭」
平良 暁、仲村渠 悟、大城 ヅーミ、
澤岬 安次、澤岬 安信、
豊里 友紀弥、山城 正子



支援センターあけぼの
「夢の木」
下地 栄理子
普久原 真弓
桑江 美月

【 絵 画 部 門 】



アートキャンプ2001
実行委員会
「顔」
野原 優子
(ワークセンター南城
たんぽぽ所属)



アートキャンプ2001
実行委員会
「顔」
野原 優子
(ワークセンター南城
たんぽぽ所属)



宮古地区手をつなぐ育成会
「公園の虫たち」
下里 吉常
松本 誠

【 絵 画 部 門 】



宮古地区手をつなぐ育成会
「海の中の生き物たち」
久貝 幸子
新垣 奈々子



おきなわ工房
「沖縄の生き物たち」
伊波 貴洋



おきなわ工房
「自然」
児玉 博史

自然の中で生き生きとした草と花と木の様子を描きました。雲も流れてのんびりと過ぎていく時間も表してみました。

【 絵 画 部 門 】

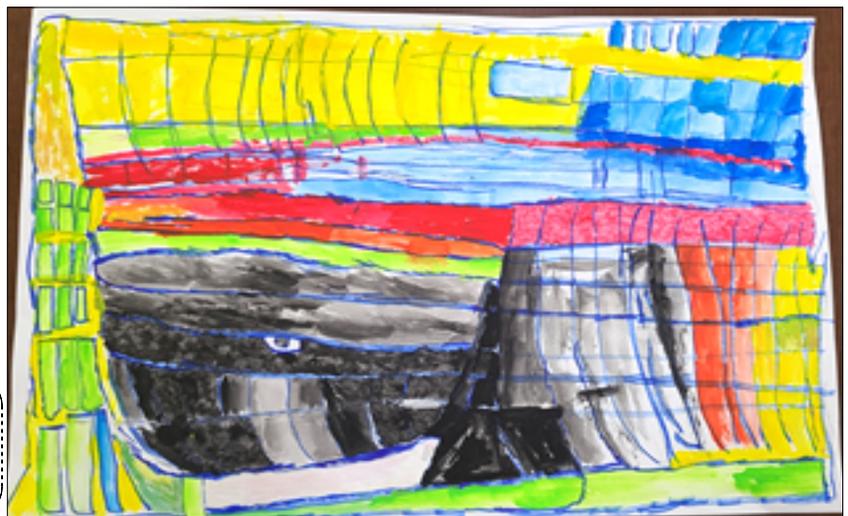


おきなわ工房
「野球選手」
神里 徹

背景を書くのが
難しかったです。

おきなわ工房
「思い出たくさん」
宮城 里奈

家族などと一緒にご飯や
買い物をしたりした。



おきなわ工房
「紫陽花」
新垣 真美



綿棒で色を重ねながら綺麗
にやりました。色をだすの
を工夫しました。

【 絵 画 部 門 】



おきなわ工房
「ジュラシック
ワールド」
神谷 大地

肉食恐竜から隕石がおちる山から富士山がたべられる。

おきなわ工房
「メガロドン(サメ)」
真栄喜 康弘

海とメガロドン(人食い巨大サメ)をイメージして描きました。



おきなわ工房
「フラワー」
新垣 佳子

色んな形のお花に、カラフルの色を工夫して書きました。

【 絵 画 部 門 】



おきなわ工房
「ひまわり」
当真 貴幸



おきなわ工房
「砂時計」
田中 千晴



おきなわ工房
「遊び人」
照屋 梓

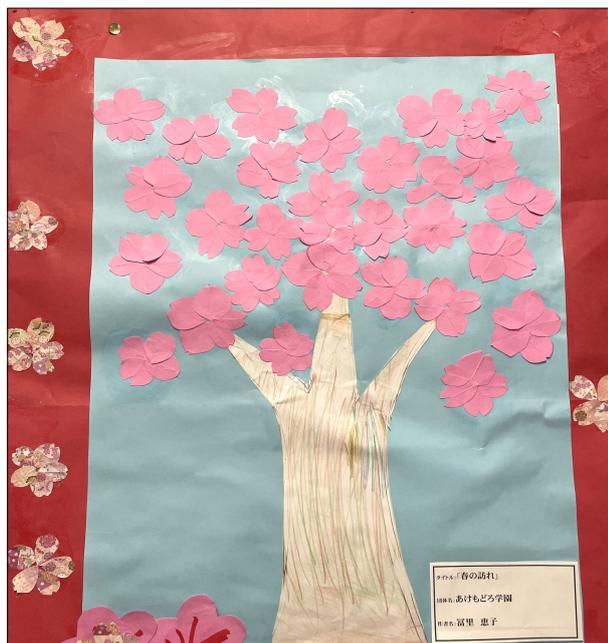
【 絵 画 部 門 】



おきなわ工房
「交通道路を渡る」
真栄城 美夢



あけもどろ学園
「蝶超 (ちょうちょう)」
名嘉山 稔



あけもどろ学園
「春の訪れ」
富里 恵子

【 絵 画 部 門 】



特定非営利活動法人
ていーだかんかん
「衝撃波」
金城 泰

すべての人にパワーを送っています。

就労支援センター首里
「沖縄の古い民家」
神谷 学



NPO法人チャレンジ
サポート・クローバー
「花火」
内嶺 愛

【 絵 画 部 門 】



NPO法人チャレンジ
サポート・クローバー
「花火」
中原 巳貴



NPO法人チャレンジ
サポート・クローバー
「仮面ライダー」
津波古 昌和

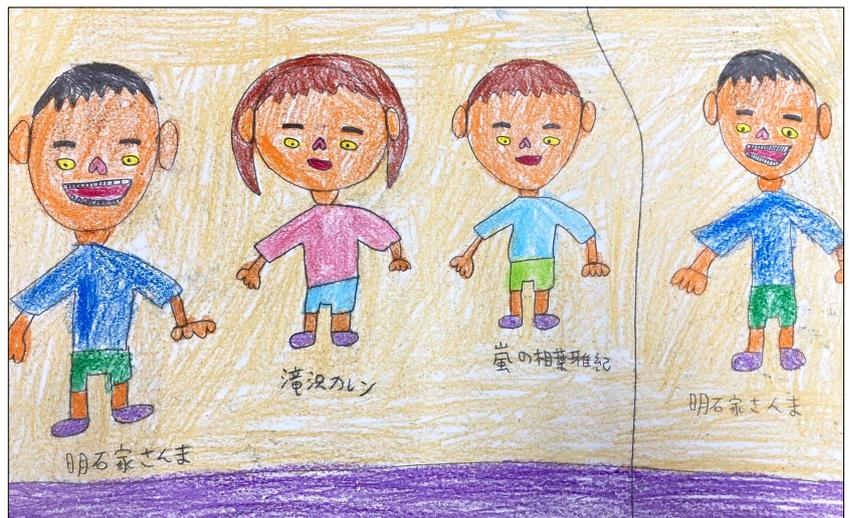


NPO法人チャレンジ
サポート・クローバー
「波の上神宮」
新垣 辰雄

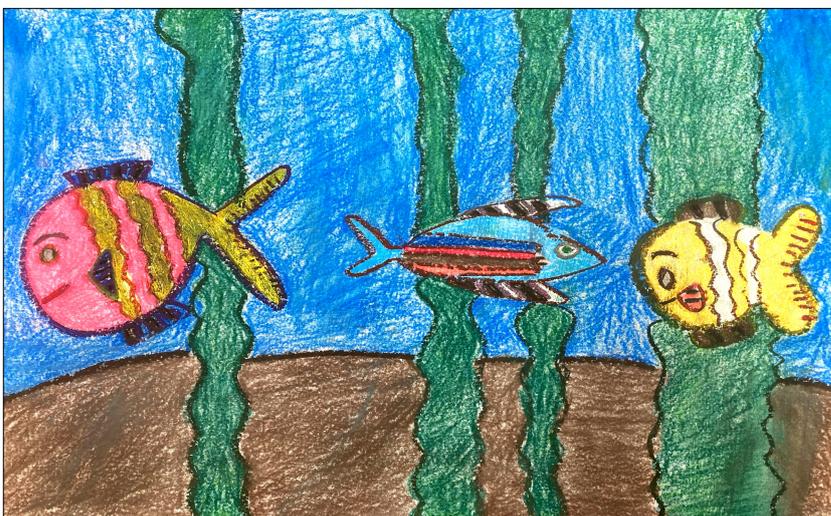
【 絵 画 部 門 】



NPO法人ナカヤ
「バラ」
浦崎 永章



NPO法人ナカヤ
「好きな人」
金城 辰弥

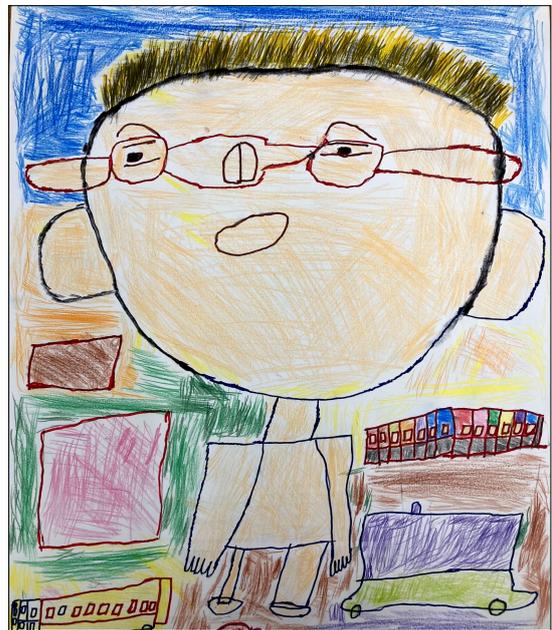


NPO法人ナカヤ
「水族館」
長崎 秀美

【 絵 画 部 門 】



NPO法人ナカヤ
「お仕事」
平良 信明



NPO法人ナカヤ
「ぼく」
伊豆味 和典



自分なりに工夫して海の色を塗りました。また、果物や野菜を擬人化して描いたら楽しそうだと思い、人間の世界で生活する様子を描きました。今後は、さらにいろいろな世界の生き物の様子を描きたいです。

トゥムヌイ福祉会
「果実と野菜の世界」 平田 舞

【 絵 画 部 門 】



障がい者支援センター
びゅあ

「わったーまち

【い・ち・ま・ん】」

松浦 梨奈、宜保 由李佳、
高安 和美、中村 悦男、
佐久間 勇人、大城 正江、
島袋 若歌子、殿内 正輝
他3名

みんなが好きなふるさと「糸満」の良いところやイベントをまとめてみました。
生まれ育ち、幼い頃からふれあってきたものをあらわしました。

障害者支援事業所
ゆいまーる
「風のゆくえ」
下地 麻琴



障害者支援事業所
ゆいまーる
「ハイビスカス」
金城 綾子

【 絵 画 部 門 】



障害者支援事業所
ゆいまーる
「屋台村」
金城 明彦



障害者支援事業所
ゆいまーる
「あじさいの花」
生活介護グループ
(スーザン・バラウータ
、比嘉 恵)



障害者支援事業所
ゆいまーる
「私が作る
ゆいまーるの製品」
斉藤 由樹

【 絵 画 部 門 】



障害者支援事業所
ゆいまーる
「タッチの野球チーム」
石嶺 栄康



障害者支援事業所
ゆいまーる
「ピンク・ピンク」
知念 美佳



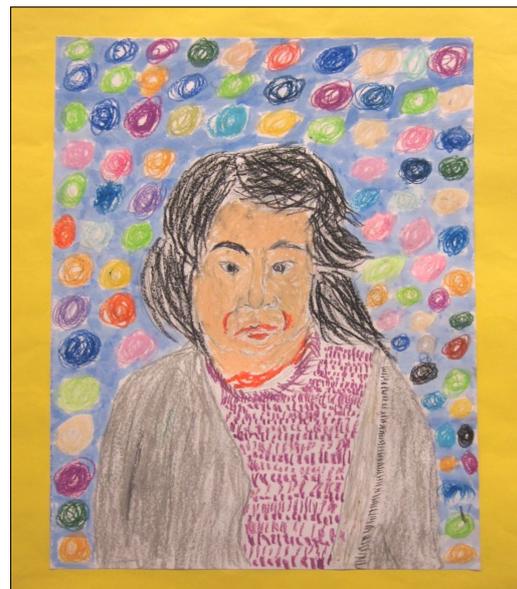
障害者支援事業所
ゆいまーる
「うさぎの世界」
天久 朋子

【 絵 画 部 門 】
【 絵 画 部 門 】



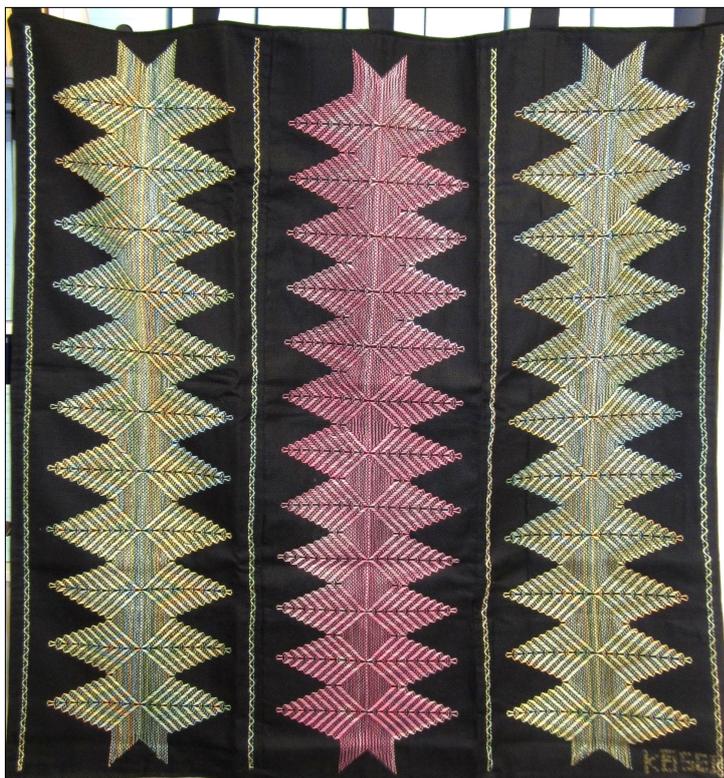
障害者支援事業所
ゆいまーる
「前川清ショー」
比嘉 操

障害者支援事業所
ゆいまーる
「自画像」
本田 春清



【手工芸部門】

★ 金賞 ★



八重山地区
手をつなぐ育成会
「タペストリー」
仲松 幸清
(八重山育成園所属)

小6（13歳）に針と糸を持ちました。途中お休みもありましたが、現在、B型事業所「八重山育成園」で作業として製作しています。継続する事の大切さ、続けることで先の目標が見えました。今後は大型の作品に取り組みたいと思います！

【金賞選考理由】単純な模様の繰り返しには、根気と繊細な作業性が
必要だと思います。継続することの大切さは最大限の評価に値します。

☆ 銀賞 ☆



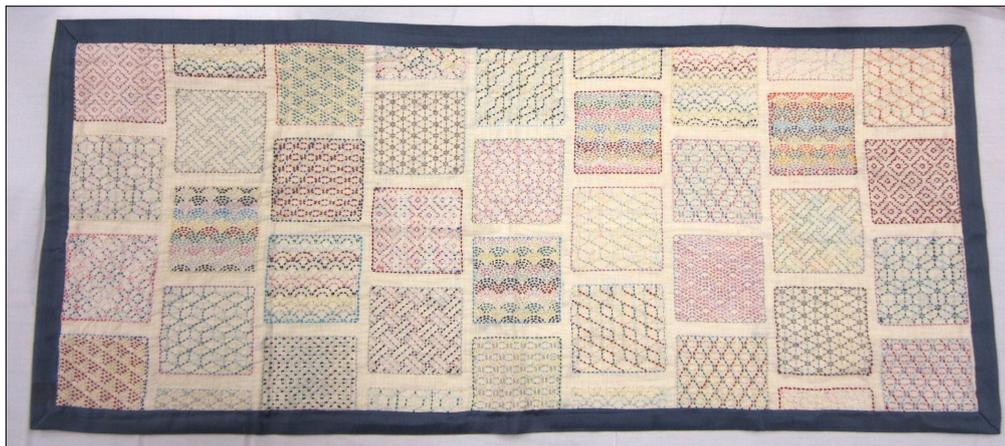
よもぎ学園 「虹の洗濯物」 よもぎ学園31名の皆様

2021年でよもぎ学園は、地域の皆様の支えもあり、おかげさまで、50周年を迎える事ができました。これからのよもぎ学園の明るい未来を願い、虹の象徴の一つでもある未来への架け橋をイメージして、利用者一人一人の思いをしばり染めに込めて、作品作りに取り組みました。

【手工芸部門】



八重山地区
手をつなぐ育成会
「テーブルセンター」
仲松 幸清
(八重山育成園
所属)



コロナの影響で半日勤務になり、時間があつたので
刺し子をして過ごしました。
何も考えずに夢中になって、とても楽しかったです。

八重山地区
手をつなぐ育成会
「刺し子」
金嶺 久美子
(あるまねっと所属)



八重山地区
手をつなぐ育成会
「花ふきん
・コースター」
金嶺 久美子
(あるまねっと所属)

【手工芸部門】



あけもどろ学園
「平和の祈りBOX」
伊佐 明美



就労支援センター首里
「かがやくみらいへ」
生活介護センター首里の皆様

コロナ禍で作業が少なくなったり、外出を控えたりと気持ちがふさがる中、明るい気持ちになれるようキラキラしたビーズでのれんを作りました。
個々で作ったものを一つにまとめ、みんなの気持ちがまとまるように願いを込めて作った作品です。



就労支援センター首里
「ミサンガ」
名嘉 匡行



NPO法人チャレンジサポート・クローバー
「ぼくのたからもの」 比嘉 宗一

【手 工 芸 部 門】



NPO法人チャレンジ
サポート・クローバー
「シンデレラ」
瑞慶山 愛梨



NPO法人チャレンジ
サポート・クローバー
「ゴシック」
屋比久 彩芽



NPO法人チャレンジ
サポート・クローバー
「くるりくるり」
上原 優子



NPO法人チャレンジ・
サポートクローバー
「メガネケース」
上原 英一

【手工芸部門】



NPO法人チャレンジ
サポート・クローバー
「Sea（海）」
比嘉 優華



特定非営利活動法人
ていーだかんかん
「革工芸」 名幸 健栄

刻印にこだわりました。



特定非営利活動法人
ていーだかんかん
「ショルダーバッグ」
上原 勇

お気に入りの和柄でバッグ
を作りました。
これからも使い易いバッグ
を作りたいです。

【手工芸部門】



特定非営利活動法人
ていーだかんかん
「ショルダーバッグ」
喜名 雄次

でグいたう
けに近ま
がバにま
める地し
なえ生心
な使。苦
、もたに
もでまし
でらまの
げちり選
さど作を
手もを糸
れがし

特定非営利活動法人
ていーだかんかん
「ショルダーバッグ」
諸見里 紀幸

バッグの中に仕切りを付けました。
仕切りにポケットを付けるのは大変でしたが、うまくできました。スナップボタンの取り付けが難しかったです。



特定非営利活動法人
ていーだかんかん
「ペットボトルホルダー」
大工廻 清子

網目をこまかくして、丈夫に作りました。

